



●サンタクロースの衣装を着て、バラの花を手渡す高校生ボランティア

こんにちは。まちなか賑わいづくり実行委員会委員長の柴田光晴です。この委員会では市民の有志による団体で、平成17年度から、まちなかの賑わいづくりやまちづくりの活動を行っています。

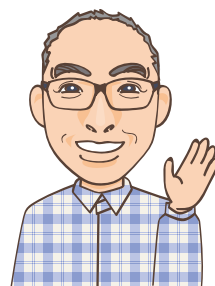
市民発!

イベントを通して

まちなかの賑わいづくり

投稿

まちなか賑わいづくり実行委員会

まちなか賑わいづくり  
実行委員会委員長  
柴田光晴

しむことのできるイベントを開催しています。

昨年の12月13日には、三河田原駅前などのイルミネーション設置場所を中心に「サンタが街にやってくる」を開催し、多くの親子連れの方々に楽しんでいただきました。イベントには、地元の高校生ボランティア16名が参加し、駅の乗降客にバラの花を配るなど大活躍でした。

次のイベントは、2月22日に開催する「さわやかウォーキング」に合わせて、「葉の花イベント」を企画しています。ぜひ、私たちと一緒に、まちを盛り上げましょう。まちなかの賑わいづくりに参加してみたいという方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

▼まちなか賑わいづくり実行委員会事務局(株式会社あつまるタウン田原内)  
石田トオル ☎24局2345

今月の花

レイコの花 いね 8

▶農政課 ☎23局3517

## ◎愛妻の日からはじまる花を贈る3カ月



フラワーバレンタインを推進している花の国日本協議会では、花を贈る3カ月間として、「花贈り」の推進を行っています。1月31日の「愛妻の日」からはじまり、「フラワーバレンタイン」「ホワイトデー」と花贈りのきっかけを提案しています。

「愛妻の日」は、妻という最も身近な存在を大切にする人が増えると世界がもう少し豊かで幸せになるかもしれない、という理想のもと日本愛妻家協会が行っている活動です。

田原市では周年栽培している花も多く、冬でも多くの花が生産されています。また、冬の時期は切花でも持ちがよく、長期間楽しむことが出来ますので花を贈る時期としてはオススメです。



1月の

渥美半島の花と鉢花



リシアンサス

(花／出荷時期:10月～7月)

花ことば

優美、希望

色や形も豊富な花で、県内1位の生産量、約200万本出荷されています。



デンドロビウム

(鉢花／出荷時期:10月～4月)

花ことば

わがままな美人

耐寒性も強く育てやすい花で、約3万鉢出荷されています。